とかち新聞
主筆 松山明
(発行所)北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
毎旬5の日発行　1部70円1カ月200円　1カ年前納2,000円

全町の電話自動化へ

本別町議会

定例第四回の本別町議会は十二月二十日にひらき、はじめに天野決昌特別委員長から四十八年度の一般会計、特別会計などの審査報告があって決算を認定、鳥居議運委員長から余市、長万部両町の議会視察についての調査報告があり、水元町長から九日の大火に関する報告があってから

一、かなり以前から過疎地域のバスの運行問題がとりあげられて、本町においてもそうしたケースがあり町村会を通じてスクールバスとの併用問題を強く要請してきたが、今回、文部省と自治省との意見調整がつき十二月八日付で文部省の初等中等局長通達という名目で、スクールバスを営業バスの通っていない路線について併用することができる、指置されることになった、したがって本町において必要な路線、またこんどスクールバスの購入にあたってできれば指置したい

二、勇足市街地区の電話お仙美里市街においても五十一年度に申し込まれており、現在の公営住宅の西側一〇〇平方㍍を電々公社にもう一度再検討して国道集するだけの時間がなく、早急対策に議長、副議長、区長代表などの参集を頂いていつときも早く協力を願った、議会よりも一時間も早くと災害対策本部を役場内に設けて私が本部長としてあたった

天野議員　スクールバスは住民の便宜をはかるために当然で、十二月中に陸運局の許可をうけて新年度からとなるか、許可をうけて混乗できるのか、使用料は条例化してやるのか

水元町長　スクールバスは大綱だけで細部については運局ではなく道教委や文部省と協議し知事の許可がいる、同乗は支障のないかぎりでき、料金はとることになる、事務的準備で新年度となる

などの質疑があって一般質問に入りました。

裳島議員　国民健康保険税の該当者は農家あるいは自営業者だが、専従者控除というものがあり、家族中がたらいているのだから引かないで課税するのは不公平ではないか、理事者はどう考えるか、専従者控除は経費だと判断している、所得税でも町民税でも控除しているのに国保税だけ控除がないのはなっとくできない

水元町長　現在の国保税の内容は国が四割、住民が六割の負担で、六割は加入者が公平に負担せねばならない、この課税方式は公平であり町が単独で変更はできない、地方財政法の定めで控除する前に課税することになるので諒承して頂きたい

裳島議員　なっとくゆかない、町自体で変えられないのはわかるが公平だというのがなっとくゆかない、上の方へ改正をはたらきかけるべきではないか

水元町長　いまの制度の方が公平と考える、運動はしかねるが国の負担をふやすべきである

このあとつづいて北村、貞本、佐野、山口の各議員から質問がありました。

国のうちそと

三木さんへの期待

★さすがに目らを「議会の子」と称する三木武夫氏の子、相だけあって、国会答弁、記者会見を通して国民に多くを語りかけようとつとめなにをきかれても感情を表に出さないで説得力のある弁舌、野党や労組代表との対話　自らの資産の公開などなど、歴史の目撃にはみられなかったボーズになにか期待をもたせたものの、サテその三木氏の実態は。

★大学を卒業して直ちに代議士となって政治以外は政治家にしてはかなりの資産家であるのは、三木武夫をとりまく財界のひいき筋は田中角栄前首相の比でなく田中氏のように地位を利用してガツガツしなくても常に四、五十名の手兵をかかえて三木派のノレンを維持できたのは財界のおかげ。

★それは当然のことで、資本主義体制を支える主人公は大資本、大企業なのだから、政界入りし三十七年目にしてようやく政権の座についた三木氏の政治目標は、これまで恩義をうけた財界への奉仕と財界のひいき筋の恩返し、つまり財界への奉仕と安定こそが保守政党の安定につながるとしても、それをコロンにしたのでは一般国民の支持が得られず、したがって政権の維持は困難なので、表面はきこえのよい社会的不公正の是正と福祉の充実を打ち出しながらも新年度予算では、サツパリーその理由は、内閣が変っても大資本、大企業優先の税制、財政、金融はやはり四十八年度同様あるいはそれ以上の三千万円から四千万円くらいとなる対策として国の特例債を本町は四千六百九十万円を申請したがそのとおり認可になり、七年間で金利は九、七五%で一般会計からの支出で年間一千万円となるなどの行政報告があり、

井出議員　戦後はじめての大火との報告だが、なぜ臨時議会を招集しなかったのか

水元町長　臨時議会を招集するだけの時間がなく、あるいはバイパス、高速道路などを勘案して都市計画区域の拡大について大体五十年度に完了したいと作業をすすめている

七、さきに条例化した修学資金の配分について選考の結果、現在医大に在学中の二名に貸付を決定した

八、農家負債整理対策は四十八年度から実施され二十一件で四千八百九十万円自創資金が二十二件で三千二百六十万円、四十九年度は百五十二件で二億五千九百二万円と決定し、町が一部利子負担をする

九、病院会計については九月末の上半期で一千四百万円の赤字なので三月末にはやっぱり四十八年度同様あるいはそれ以上の三千万円

足寄消防団　第一分団後援会

会長　両角　章　理事　加藤　満
副会長　鈴木信明　同　大川一利
同　野村正夫　同　加藤繁夫
同　木村春三　同　坂井一夫

池北三町浄化センター組合

組合長　小林弘道
助役　富田秋雄
収入役　加藤芳弘
議会議長　竹内千代蔵
同副議長　方川新一
事務局長　松平京

賀正　一九七五年

池北三町消防事務組合

管理者　小林弘道
副管理者　水元孝夫
同　富田秋雄
同　杉田稔
収入役　加藤芳弘
議会議長　大滝弥助
同副議長　天野晴清
消防長　幡省三
足寄消防署長　川音正義
同次席　田中秀男
本別消防署長　小川誠
同次席　川公一
陸別消防署長　堀籠吉尚
同次席　菊地弘
足寄消防団長　久保与一郎
同副団長　野上浅太郎
同　市原四四三
本別消防団長　鳥居健太郎
同副団長　十河寿男
陸別消防団長　山本憲一
同副団長　伊藤勇
同　山陰光五郎

本別地区労働組合協議会

議長　菊地勝　教宣部長　藤浦義弘
副議長　鈴木豊彦　政治部長　土蔵喜久治
同　細岡豊　文化部長　満仁崎博美
事務局長　新井実　組織部長　伊藤澄夫
同次長　伊藤博樹　青年婦人部長　橋本勝彦
同　砂原勝　物価対策部　高橋広
同　加藤正吉　同　穐田恒雄

帯広石油販売足寄支店

支店長　石川勲
足寄町大通り　T　二三七九・二二九五

吉田整骨院

吉田幸蔵
足寄町　T　二二八八

日本通運足寄支店

支店長　折笠茂
足寄町駅前　T　二一三八

足寄町造林協会

会長　宮口政雄

大川組	大川義夫	T	二五七六
大川興業	大川光男	T	二五三五
大川建設	大川清治	T	二五二〇
相沢林業	相沢稔	T	三三七二
高橋林業	高橋忠雄	T	三三六五
阿部林業	阿部俊夫	T	二四四六
工藤林業	工藤勇作	T	(大誉地)六
清水組	清水郁男	T	三〇八八
宮口産業	宮口政雄	T	二〇九九